

校長 eyes (392)

12月19日(金)【「絵の甲子園」①】



尾道は「絵になる町」とよく言われますが、その象徴が「絵の甲子園」と言われる「高校生絵のまち尾道四季展」ではないでしょうか。これには全国から作品が集まるそうです。今回本校から6人が出品し、1年生からは吉浦浩喜君が唯一出品しました！「よく見る海」と題されたこの作品は、通学中の風景だそうで、「空と海それぞれの色のグラデュエーションや、空と海の境をどのように表現するかということに苦労しました」と語ってくれました。

本日の短歌

「尾道は どっち向いても 一幅の 絵になる風景 広がっている」